



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第434号

## 風がどこから吹いてくるのか、私たちは知っている

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

「風が吹くとき」。今でも忘れられません。私が幼少期にイギリス人作家のレイモンド・ブリックズ氏によって描かれたこのアニメーション作品を見て衝撃を受けたことを。皆さんもこの作品についてはよくご存知だと思います。ロンドンに住むある人柄の良い老夫婦が、核ミサイルが飛んできて政府による公式マニュアルに従ってシェルターを造り、その中に非難さえすれば助かると信じた結果、核爆発による暴風を受けてしまいます。でも、シェルターに避難していたのだから大丈夫として倒壊を免れた自宅でそのまま過ごした結果、最後には、、、。おばあちゃん子であった私には放射線病で衰弱していくこの人柄の良い老夫婦の姿が、そのまま自分の祖母の姿と重なり、恐怖したことを覚えていきます。

この作品が世に出されたのは1982年(私が生まれたのもこの年)で、冷戦もまだ終結していませんでした。1962年のキューバ危機を回避したことで核戦争の脅威は取り除かれたはずでしたが、残念なことに、核戦力に依存する国は後を絶たず、冷戦が終結した今日でも核戦争の脅威は消え去っていません。むしろ、平然と核戦力の保持を主張する人々の論理が世の中を動かしてしまっているようです。核の風が吹いたらどうなるのか、世界中の人が理解しているはずなのですが。

さて、皆さんはローマ・カトリック教会がキューバ危機の起きた1962年にどんな決断をしたのかをご存知でしょうか。それは、第二バチカン公会議の招集です。当時、教皇職にあったヨハネ23世(2014年4月27日に列聖/10月11日が祝日)は、世界に対して教会が責任をもって果たさなければならないことが何であるかを自覚されていたのでしょ。様々なテーマに及び、思い切った改革をされました『第二バチカン

がんば3	2面
信徒総会	3面
福岡教区ベトナム人の集い	4・5面
幼稚園から	6面
委員会等報告	7・8面
お知らせ	8面

公会議 公文書集』を参照のこと)。招集の動機について発表された憲章

(1961年12月25日付け)において「悲惨な戦闘の危機によって、たえず不安にさらされている全人類家族に関しては、今回の公会議は優れた意志をもつすべての人に好機を与え、着手し促進すべき平和への忠告と提言を示します」(『第二バチカン公会議教皇演説集』p.15 参照)と述べているとおりです。

“聖霊”の語源は「息」とか「風」などを意味する言葉です。60年前、核の風が吹き荒れようとした世界に対し、それを止めようと聖霊による風を巻き起こした神の意志は今も教会をとおして世界に向けられています。風は神のもとから吹き付け、私たちを動かし続けます。第二バチカン公会議の精神、そして、ヨハネ23世が亡くなる直前に発表された回勅『パーチェム・イン・テリス(地上の平和)』を学ぶ機会をぜひ作りませんか。

## 「セシリア会」



セシリア会は、典礼委員会の中にオルガンを弾いて奉仕グループがあり、それが以前からあるセシリア会です。

およそ40年前、橋本末寿枝先生がオルガン奉仕を一人で行ってくださっていましたが、足のケガのため当時教会にあったリードオルガンの演奏ができなくなったことがきっかけで、誕生したのがセシリア会です。私は、小さいころからピアノを習っていたこともあり、母から「あなたも弾きなさい。」と強く言われたのがきっかけでセシリア会に入りました。

発足当時のメンバーは、宮城さん、田村さん(元幼稚園園長)、相川さん、常定(吉川)の4人でした。その後、栗原(栗木)さん、岡部さん、上坂さん、川島さん、池田さん、三谷さん、宗さん、田中くん、などたくさんの方が関わってくださいました。しかし、学校や仕事の都合で、メンバーがなかなか定着しないのが常に悩みでした。今は、宮城さん、栗木さん、吉川の3人で分担して、オルガン奉仕をしています。

今、奉納の時に奏楽で使っているラテン語の聖歌集は、発足当時ベリオン神父様から頂いたものです。何の曲なのか、全くわからなかったので、神父様に曲名を訳していただきました。そのおかげで典礼暦に沿って選曲することができています。

セシリア会では私たちと一緒にオルガン奉仕をしてくださる方を常時募集しています。過去にはいろいろな事情が重なり、誰もオルガンを弾くことができず、オルガンなしのミサもありました。また、私たちのようにある日突然、という事態になる前に教えたいこともちょっぴりあります。まずは1曲からでも大丈夫です。オルガン演奏に興味がある方、小さいころにピアノやエレクトーンを習っていた方、老若男女問わず、気軽に声をかけてください。

セシリア会 吉川

## カトリック水巻教会 2024年度・信徒総会開催

去る5月19日のミサ後、約60名の出席のもとで2024年度の信徒総会が開催された。

はじめの祈りに続き、主任司祭からは「福岡教区は2027年の7月16日に教区創立100周年を迎える。発表された宣教司牧方針に基づき、具体的な活動を企画しなければならない。会計報告は活動あってのことなので、活動の充実を図っていきましょう」との話があった。続いて、2024年度のミサ、および主な行事計画を確認した。現在、主任司祭が水巻教会と直方教会とを兼任しているため、直方教会と連携した活動案も今後は提案されていくだろう（実際、9月23日に企画されている巡礼旅行は直方教会との合同のものとなる）。

続いて、昨年度より開始している教区財政の見直しに基づく資産運用についてのさらなる協力が可能であるとの判断から以下の提案がなされた。預けている改築献金に加え、普通預金額から当面使用することのない分をさらに上乗せするという旨であった。

行事計画について、また会計報告についての質疑応答などに続き、出席者全員承認の拍手によって信徒総会は閉会した。

司祭	谷口 尚志 神父
小教区委員長	上川 直子
小教区副委員長	野田 真由美
	専門委員長
総務委員長	岩本 ナセ
財務委員長	坂元 初美
典礼委員長	浅田 敏幸
	(副)濱村 誠治
広報委員長	上甲 銀河
	代表委員(小グループ共に総務委員長が管掌)
納骨堂管理の部	大原 愛子
冠婚葬祭の部	田中 禮子
営繕の部	岡部 成敏
	地区代表委員
芦屋・遠賀	濱村 誠治
梅ノ木・吉田・中間	赤石 良夫
赤間・海老津	岡田 義博
折尾・高須・青葉	アブドゥハン 恭子
	北九州地区宣教司牧評議会
	小教区副委員長が兼任
	小教区委員会事務局(役員会)
主任司祭・小教区委員長・小教区副委員長・総務委員長・財務委員長	

水巻教会小グループ代表者	
グループ名	代表者
教会学校	谷口神父
(召命を祈る会)	対馬 須美江
聖歌隊	
お花を生ける会	川島 幸子
クリストフォール	岡部 和子
図書	豊永 真理子
侍者会	濱村 誠治
グループ名	代表者
ふれあい会	吉田 久枝
レプトン会	岩本 ナセ
抱樸支援会	教会役員会
聖書の分かち合い	小野 照代
こころの会	岡本 輝男
ラ・シーヌの会	矢田 公美

## 福岡司教区第一回ベトナムカトリック青年会議所2024

Nguyen Loc

見知らぬ人とも協力し、意見を交換し、学ぶために多くのものを与えてくれた青年会議所に感謝します。



## 福岡教区ベトナム人の集い

岩本光弘

5月4日、旧福岡神学院で、福岡教区内のベトナム人の集いが開催されました。会場には福岡教区内の各所から400名近い人たちが参加しました。水巻教会からは30数名が参加、直方教会からは10名が参加しました。

このような集まりは、全国では各地で早くから開催されていて、5年前の浜松での全国大会では2000人以上が集まりました。九州でも数年前に全九州の集会として計画されたことがありました。実行委員会も数回開かれて準備が進んでいましたが、新型コロナの蔓延で中止しました。今回は福岡教区なのでかなり規模が小さくなったのですが、水巻教会に来ている青年たちだけでも30名以上参加していましたし、久留米のリーダーに聞くと申し込みだけで60名だったそうですが、実際には各地は申し込み以上に参加していたようです。

会場は神学校の前の広場で、そこに舞台を作っていました。開会前から踊りのメンバーが大音量の音楽に合わ



せて踊り、雰囲気盛り上げていました。

当日のプログラムは、入場の時にそろいの帽子と一緒に配布されていましたが、全部ベトナム語なので分かりませんでした。このような帽子やユニフォームや舞台の準備などとてもよく準備がされていました。

開会の音楽と踊りの後に司教様の短い挨拶が通訳付きで有り、その後プログラムが進みました。通訳は福岡にいるシスターでした。

シスターは「この子たちは小さいときから教会学校の時に踊ったりしているので踊りや歌に慣れています」と話していました。ベトナムの教会は楽しいのでしょうか。

その後名古屋から来たベトナム人の司祭の長い講話がありました。当日はとても暑かったので、教会ごとに木陰に座って話を聞いていました。水巻や久留米のメンバーに会いに行きました。

最初に来賓席に座っていると福岡のドアン君が子どもと一緒に挨拶に来てくれました。ドアン君の家族は、会場の外の芝生の上にシートを敷いて参加していました。家族連れの人たちがかかり多く来ていて、しばらく会っていなかった子どもたちが大きくなっているのにはびっくりしました。

谷口神父も参加されていました。プログラムが終わってから水巻の青年たちは谷口神父と天神で食事をしてから別れたそうです。私はプログラムのすべてがベトナム語なので、雰囲気だけを感じ、友人たちに挨拶して昼前に帰りました。

会場は母国語が飛び交い、若い人達の熱気に包まれていました。ものすごい雰囲気です。秋に「福岡青年の集いがあります」と久留米のナム君から聞きましたが、そこにこの勢いで彼らが参加したら、どうなるのやらと思いました。日本人の青年たちに良い方向で刺激になればいいと思います。





## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 6月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉

先日、春の遠足でグリーンパークに行きました。保護者の方と一緒に、緑の芝生で体操をしたり、熱帯生態園に行ったりと、楽しい時間を過ごしました。今から暑い日が続きますので、熱中症に気を付けながら過ごしていきたいと思います。



5月は聖母月ということで、子ども達とマリア様にプレゼントするための「心の花束」の準備をしています。新しいことに挑戦する、お友達に優しくすると子ども達が話してくれました。これからも、たくさんの愛に包まれて、成長してほしいです。

水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

### 〈マリア子どもの家〉



5月10日(金)水巻聖母幼稚園の「春の遠足」で、グリーンパークに行きました。快晴で、やや暑い日差してましたが涼しい風があり、絶好の遠足日和でした。

集合した後、お祈り・体操をして、写真撮影の後、みんなで熱帯生態園に行きました。檻の中のカピバラやカワウソ、水槽の中のサメ・ウーパールーパーやトカゲ等をたくさん間近で観ました。また、熱帯生態園には、色々な熱帯植物が生い茂っていて、その間や私達の周りを、ひらひらと8～10匹のオオゴマダラ蝶が飛んでいたのには驚きました。本当に、熱帯の国に来たようでした。



その後、化石の谷やでこぼこ広場に行き、たくさん遊びました。シートを敷き並べて、みんなで食べたお弁当も格別でした。

TEL : 050 5212 7759

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

# 委員会等報告

2024年5月分

## 5月度小教区委員会 5月5日

### 1. 行事予定

- ・6月 2日(日) 11時～ミサ  
ミサ後～小教区委員会
- ・6月 9日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校
- ・6月 16日(日) 11時～ミサ  
18時～ベトナム語ミサ
- ・6月 23日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校、こころの会
- ・6月 30日(日) 11時～ミサ

### 2. 議題

(1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

#### ① 広報委員会

・「からしだね」発行のための作業改善に向けてサーバーの設置を検討中(5～6万円)。これにより、わざわざ教会に来なくても編集作業が可能となる。

・ホームページ作成を再検討中。どのようなものにするかの声を聞かせて欲しい。また、黙想会、聖書講座等で聖堂内を使用する際にWi-Fiが使用できると便利なので中継機の設置も検討したい。

#### ② 典礼委員会

・聖歌隊から代表者を出すことが難しい状況があるとのこと。聖週間の典礼の反省を含め、この件についても集まる必要があるため、6月中に委員会を開くようにする。

#### ③ 総務委員会

・4月14日(日)、ミサ後に総務委員会を開いた(15の小グループの代表者が集った)。

#### ④ 財務委員会

・議題3、5を参照のこと。

#### ⑤ 営繕の部

・プロジェクターとスクリーンに先駆け、聖堂内の左右の窓に前列から3つずつ、遮光カーテンを取り付けた。

#### ⑥ 納骨堂管理の部

・5月1日(水)、西川栄子さんの納骨式を行った。5月19日(日)、6月16日(日)のミサ後にも納骨式を行う。

#### ⑦ 冠婚葬祭の部

・特になし

#### ⑧ 北九州地区宣教司牧評議会

・5月12日(日)14時より、小倉教会にて地区宣教司牧評議会の定例会がある。また、5月25日(日)には14時より飯塚教会にて地区宣教司牧評議会主催の聖書講座が行われるので参加をお願いしたい。

### (2) さらに教区への預け金について

・現状、一般会計の普通預金からさらに教区への預け金を確保することが可能と判断。2023年度には改築献金より200万円を預けたが、2024年度にはこれまで集まっている改築献金のうちの150万円と、一般会計の普通預金からの850万円ほどを預けてはどうか。信徒総会において正式に預け金の

増額を決定することとする。

### (3) プロジェクター、スクリーンの導入に向けての具体的な動きについて（遮光カーテンは設置済み）

・プロジェクターとスクリーンは2店舗の家電量販店において調べ、15万円前後での購入となると試算(黙想会や研修会だけでなく、地区の聖書講座や小教区内の各個グループの集まりでの活用が見込まれるために導入する)。

### (4) 直方教会との合同巡礼について

・日程は昨年と同様で9/23(月)に行う。訪問地は信徒総会において信徒全員に3か所ほどを提示し、その後、前回の巡礼の場合と同様に信徒へのアンケートを実施して正式に決定する(直方の信徒に対しても実施する)。

### (5) 総務委員会開催を受けて

・各小グループの活動報告と共にミサ後の清掃について次のような意見が出された。毎週、地区ごとに行っているが、現状、一部の信徒のみに負担がかかっており、どうにかならないかというもの。これを受けて清掃の在り方を見直すことにする(外回り、トイレ等の清掃についても見直しが必要)。まずは次のような動きを実施する。

①毎週のミサが終了後に掃除当番となっている地区の信徒を集め、掃除区域を割り当てるようにする。

②第5日曜日の場合は地区ごとに掃除区域の割り当てを行う。

③ベトナムの青年たちにも掃除の協力を願うようにする(彼らのなかで毎週の担当者を決めて、その週の担当地区の信徒ともに掃除を行ってもらうようにする)。そのため、5/19(日)のベトナム語のミサが終わってから彼らに呼び掛け、説明をするようにする



### ★特別献金★

5月5日 世界広報の日献金  
27,120円  
ご協力、ありがとうございました。



【転出】お元気で!

◇中村 順一さん シズエさん  
折尾地区から黒崎教会へ

【帰天】安らかに!

4月21日  
◇パウロ 田中 正人さん  
(折尾地区)

4月22日  
◇クララ 西川 栄子さん  
(遠賀地区)